

平成17年度 社会実験実施地域（追加分）

くらしのみちゾーン・トランジットモール等の社会実験（3件）

No.	地域	実験名称	実験概要
1	神奈川県 川崎市	川崎駅東口駅前広場平面 横断化社会実験	駅前広場中央部と東口市街地の間を歩行者が地上横断できるよう駅前道路に仮設の歩道を設置して車両通行規制し歩行者が常時通行可能な平面横断実験を実施し、歩行者等の回遊性や利便性等とあわせて周辺交通への影響について検証する。
2	神奈川県 相模原市	歩行者の安全性と交通利 便性の両立を目指す広域 的施策実験	水郷田名地区における歩行者の安全性向上を図るため、生活道路の速度抑制としてイメージハンプやカラーコーンによる狭さく等を設置するとともに、通学時間帯での流入制限を実施する。
3	島根県 松江市	玉造温泉街賑わい歩行空 間社会実験	玉造温泉街の中心通りにおいて、一方通行規制を実施するとともに、立体ハンプ・狭さく・イメージ歩道を設置し、安全で快適な歩行者空間の創出の有効性等を検証する。あわせて、イベントなど街の賑わい創出活動を実施する。